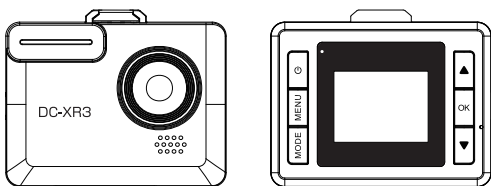


Diletto

フル HD ドライブレコーダー

DC-XR3

取扱説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本書(取扱説明書)をよくお読みの上、正しい接続・使用方法でお使いください。
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

microSDカードの取扱いについて

- 本機が起動中(通電中)の状態でのmicroSDカードの抜き差しをしないでください。
- 必ず、電源が入っていない事を確認してからmicroSDカードの抜き差しをおこなってください。
- 電源を切らずにmicroSDカードの抜き差しをすると破損、データ消失の原因となる可能性があります。
- 事故発生時は事故時のデータ保存のため、電源を切ってからmicroSDカードを抜いて保管してください。
- 詳細については、本書P2の「microSD カードについて(重要)」を必ずお読みください。

保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

目次

はじめにお読みください

microSD カードについて (重要)	1	録画について	23
安全上のご注意 (必ずお守りください)	3	動画記録モード	25
使用上のご注意 (必ずお守りください)	6	動画記録設定	27
モード種別について	11	再生モード (記録ファイルの読み出し)	29
商品構成一覧表	12	共通設定について	31
各部の名称と動き	13	録画時間について	33
配線接続について	15	トラブルシューティング	34
取り付け	16	オートフォーマットについて	35
microSD カードについて	19	その他	36
電源オン/オフについて	22	仕様	39

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 本書では、microSDHC や microSDXC カードを便宜上、「microSD」と表記しています。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は、全ての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害または録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 配線接続の誤り等により、車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- LED 方式の信号機は録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSD カードの取扱には十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。注意事項を守らずに発生したデータの損失や破損に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類および市販品の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。

microSDカードについて(重要)



本製品を使用する前は、必ず microSD カードをフォーマットしてください。
フォーマットをしないとご使用できません。



安定してご使用いただくため、microSD カードを定期的にフォーマットしてください。
※推奨：2週間ごと

microSD カードのフォーマット操作方法については、
P.20 を参照してください。

microSD カードのフォーマットとは？

フォーマットとは、microSD カード内のデータを初期化することであり、長期間 microSD カードをフォーマットせずに録画データを書き込み続けると、書き込みや読み込みのエラー（ファイルの断片化）が発生しやすくなります。

フォーマットせずにお使い続けると、正常に録画ができなくなったり、microSD カードが認識できなくなる可能性があります。安定的にお使いいただくために、製品お買い上げ時および2週間ごと（推奨）に定期的なフォーマットをしてください。

※microSD カードのフォーマットは、本体設定の初期化（工場出荷設定）とは異なり、microSD カード内にある録画データのみを初期化（クリーンアップ）するものとなります

※microSD カードのフォーマットを行うと、全てのデータが消去されますので、ご注意ください

microSDカードについて(重要)







ご注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- 付属の microSD カードを使用してください。指定以外の microSD カードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- フォーマットしないままご使用されると、正しく録画ができない場合があります。
- フォーマットする際は、本機によるフォーマットをするか、パソコンでフォーマットをおこなってください。
- microSD カードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSD カード自体の寿命で使用できなくなった場合、パソコンでも読み込みができなくなり、正常にご使用できなくなります。
- microSD カード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSD カードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- microSD カードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- microSD カードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSD カードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか本体の電源をオフにした上、安全な場所に停車してからおこなってください。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。
- 市販の microSD カードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- 市販の microSD カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- 市販の microSD カードについての仕様に関しては、microSD カードメーカーへお問い合わせください。
- 変形している microSD カードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 本体の動作温度が仕様外の場合、microSD カードが正常に動作しない場合があります。
- microSD カード自体に塗装やシール貼付されている場合は、ご使用できませんのでご注意ください。
- 本機は、8GB～32GB Class 10 の microSD カードに対応しています。ただし、全ての microSD カードの動作を保証するものではありません。市販品の microSD カードを使用した場合の動作不良に対しては保証対象外となります。
- microSD カードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等はおこなっておりません。
- フォーマット作業による microSD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業による microSD カードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。


安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のため、必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。


 警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
 注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために必ず守っていただきたい事項
 禁止	絶対にしてはいけない事項
 強制	必ず守るべき事項

警告


必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

-  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、ご購入店または弊社サービスセンターにご依頼ください。(ヒューズ:3A)


取り付けには車両の保安部品のボルト
やナットを絶対に使用しない

-  ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。


取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認

-  車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。


運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

-  運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

-  走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

-  ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

! 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

⊘ 煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

⊘ 誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁する

! 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因となります。

指示に従って正しく配線・取付を行う

! 説明書に従って正しく配線・取付をしないと火災や事故の原因となります。

DC12V-24Vマイナスアース車で使用する。

! DC12V-24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因となります。

分解や改造はしない

⊘ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

⊘ 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因となります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子を外しておく


! バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因となります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する


! 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)


車載用以外には使用しない

-  車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。


コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない

-  ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。


高温になる場所などに取り付けない

-  直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。


振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない

-  傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。


本機の通風孔を塞がない

-  内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。


強い衝撃を与えない

-  落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。


必ず付属品や指定の部品を使用する

-  指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない

-  雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止


-  雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。

使用上のご注意(必ずお守りください)


- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけてください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

注意


取り付け時はエンジンを切る

-  本機の実取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。車両のキーがONの状態で行うと、感電及び故障の原因になります。


磁気性があるものに近づけない

-  本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。


画質が落ちることがあります

-  トネル入出時のように、急に明るさや暗さに変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源がないなどの条件では、録画画質が落ちることがあります。


信号機の色を認識できないことがあります

-  LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする

-  車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射や屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

microSDカード容量超えを注意する

-  本機は16GBのmicroSDカードを付属しています。緊急録画で記録された動画は、設定により上書きされない場合があります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

GPSについて

- GPSとは、「Global Positioning System」の略称です。アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。
- トンネル内やビル群、山間部等では、GPSの電波を受信できなくなる場合があります。また、衛星の受信状態などにより、約50m～100m程度の測定誤差が出る場合があります。
- 自車位置はGPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位を行うことはできません。
- 本機の録画データに記録される日時はGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- 本機のGPSは本体に内蔵されているため、本体には塗装やシール貼付等しないでください。GPS性能が落ち、十分な性能を発揮しなくなります。
- 車両のフロントウィンドウガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、GPS受信に影響が出る可能性やGPSが受信できない可能性があります。
- 本体は各車載機器（※1）および各アンテナ（※2）からなるべく離れた位置に設置してください。車載機器やアンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、本機もしくは各車載器が誤動作を起こす原因となる場合があります。そのような場合、各車載器から離して、GPS衛星の受信に影響のない場所へ設置してください。
※1 ナビゲーション本体、ETC車載器、地デジチューナー、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機など
※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど
- GPSの受信環境により、起動時間が長くなったり、GPS受信までに時間がかかる場合があります。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。
- 最後に電源オフしてからの自車位置と次に電源オンした地点が離れていた場合、GPS受信までに時間がかかる場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム(カメラ)などを搭載した車両に設置すると、位置によっては衝突回避支援システムからのノイズに干渉し、GPSが測位しづらくなる場合があります。
- ナビゲーション本体や地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器から漏れた電波により、GPSを受信できない場合があります。
- 長期間本機をご使用にならなかった場合や内蔵キャパシタの充電が空の場合、本体内蔵のGPS測位(受信)に時間がかかる場合(3～4分)があります。その場合、電源を入れてからしばらくすると正常にGPS受信します。
- GPSが測位(受信)できていない場合、日時の自動取得ができなくなります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

アイドリングストップ車について

- 一部のアイドリングストップ車では、エンジン再始動時に電圧変動が発生することにより、供給電圧が低下する場合があります。その場合、本機の電源がオフとなる可能性があります。
- 車両のバッテリーのコンディション(※)によって、再起動する場合があります。頻繁に再起動する場合、車両バッテリーの電圧をご確認してください。
※ストップ&ゴーを頻繁に繰り返すような渋滞時や車両のバッテリーを通常時よりも大きく消費する環境時(エアコンやハザード、デフロスター、ワイパー作動時等)に発生する可能性があります。

録画について

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面および記録ファイル上、チラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、ディスプレイを注視しないでください。
- 画面モード切り替えや輝度調整、静止画撮影を行う場合、周囲の安全を十分に確認した上で操作してください。
- 設定操作を行う場合は、必ず、安全な場所で車両が止まっている状態(パーキングギアに入っている状態かつサイドブレーキがかかっている状態)でおこなってください。
- 録画環境により、録画した映像にノイズが入っているように見えたり、一瞬映像が青くなる場合や赤くなる場合がありますが、カメラの性能によるためであり、故障ではありません。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変化する場合があります。
- 長時間録画(フレームレート変更)した場合は、標準での録画よりも画質が低下する場合や映像が滑らかな再生ができません。
- 電源オン後、SDカード読み込みのため、録画開始まで時間がかかる場合があります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。
- 液晶画面で見える映像と実際の記録された映像ファイルでは環境や走行状態、光の加減等で違いが生じる場合があります。
- 特に夜間など、光源少ない場所等では、歩行者や自転車等が横切った場合、残像が生じる場合があります。これは映像処理によるものであり、故障ではありません。
- 特に夜間など、自車のヘッドライトにより、前方の車両ナンバーが白飛びする場合があります。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意(必ずお守りください)

取り付けについて

- 本書の「取り付け」にしたがって、正しく取り付けてください。
→P.16「取り付け」
- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車検証ステッカー等に重ならないよう取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限られています。
- 運転者の視界の妨げにならないよう、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置してください。
※ウェザー・ストリップ、モール等と重なる部分およびマスキングが施されている部分を除く
- 本機のレンズ部分がサンシェードやクロセラライン、クロセラパターンにかからない位置に取り付けてください
- 視界の妨げにならないよう取り付けてください。
- 他の車載器や無線機、テレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム(カメラ)などに干渉しない場所へ取り付け・配線をしてください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けないでください。
事故の際に、安全装置が正常に動作せず、けがの原因となります。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようご注意ください。また、必ず車内へ取り付けてください。
- カメラを取り付ける前に、必ずガラス面の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。
- 配線処理は、運転の妨げにならないように、しっかりと処理してください。
- 各配線が引っ張られた状態で配線の取り直しを行うと、断線や接触不良により動作が不安定になる可能性があります。また、電源が入らなくなったり、突然電源が落ちるなどの可能性があります。配線は余裕を持たせて取り回してください。
- 付属品以外のものは使用しないでください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに鮮明に記録できなくなります。
- 本体および各カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。
- 本製品は、車両のアクセサリー線（ACC）、アースへ接続する必要があります。
- アクセサリー（ACC）をオフにした状態でも、日時保持のため、暗電流消費されます。
- 定期的な車両のバッテリーコンディションを確認してください。
- 本機を使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 車両ヒューズの無い配線へ接続を行うと火災や故障の原因となります。
- 電源コードを加工したり、ヒューズを外して接続を行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線についてのギボン端子をご使用ください。エレクトロタップ等のご使用は接触不良を起こす場合があります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

本機の日付と時刻について

- 本機の日付と時刻は、GPSデータを受信すると自動で設定されます。
→日付設定について P.27「動画記録設定」
※トンネルやビル群、山間部などGPSを受信できない環境では日時が取得できません
※GPSを受信できない環境に置かれた場合、録画データの日時にずれが生じることがあります

カメラレンズについて

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また、実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり異常ではありません。

スーパーキャパシタについて

- 本機搭載のスーパーキャパシタは、急に電源が遮断されたときに現在録画している映像の破損を防ぎ安全に保護するためのバックアップ用電源です。以下の点にご注意ください。

1. 初めてご使用になるときや長時間使用されてないときは、スーパーキャパシタの特性上電気容量が少ない状態です。
必ず「10分以上」充電してから本機の電源をお切りください。
3分未満の充電で電源をお切りになった場合、録画している映像が正しく保存されない場合がありますのでご注意ください。
2. 本機の電源を切ってから約22日間充電（本体への通電）を行わない場合、スーパーキャパシタの電荷が放電され、日付の設定が工場出荷状態に戻ります。
そのため、22日以内の充電（本体への通電）をおすすめします。
22日以上充電が行われずに、工場出荷状態に戻ってしまった場合は、「10分以上」本体へ通電をおこなってください。
→日付設定について P.27「動画記録設定」

モード種別について

モード種別

本製品は、管理者モードとユーザーモードの2つのモードを備えています。

●ユーザーモード（操作制限付き）

全ての操作や設定に対して、制限するモード。

※各種設定変更や記録ファイルの削除などができないモードとなります

※レンタカー向けなどでは、通常こちらのモードを使用します

●管理者モード（操作制限なし）

特定の管理者のみが本機の全ての操作や設定をすることができるモード。

※本体設定や記録ファイルの確認などが行えるモードとなります

本書の操作や設定説明について

本書に記載されている操作方法や設定方法については、管理者モードで行える説明となります。それぞれの操作、設定については、管理者モードに設定した上でおこなってください。

モード変更

管理者モードの入り方と解除操作方法については、製品に同梱されている別紙：「管理者モード操作方法」をご参照ください。

自動ロック（ロック忘れ防止）

管理者モード中、以下の状態になった場合、管理者モードから自動的にユーザーモードへ切り替わります。

- 設定画面中、何も操作をしない状態で約 30 秒経過し、録画画面に自動的に切り替わった場合
- 再生モード（ファイル停止）中、何も操作をしない状態で約 30 秒経過し、自動的に録画画面に切り替わった場合
- 設定画面から録画画面に切り替えて、何も操作をしない状態で約 30 秒経過した場合
- 電源をオフした場合（再度、電源がオンされると、ユーザーモードで起動します）

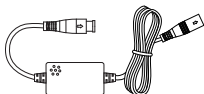
商品構成一覧表

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

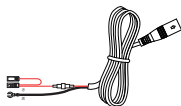
標準同梱品



■ドライブレコーダー本体



■電源ケーブル1
(本体接続線)
※耐熱カバー付



■電源ケーブル2
(車両接続線)



■取付ステー
(3M両面テープ付)



■microSDカード16GB
(本体に装着)

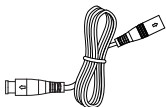


■取扱説明書



■保証書

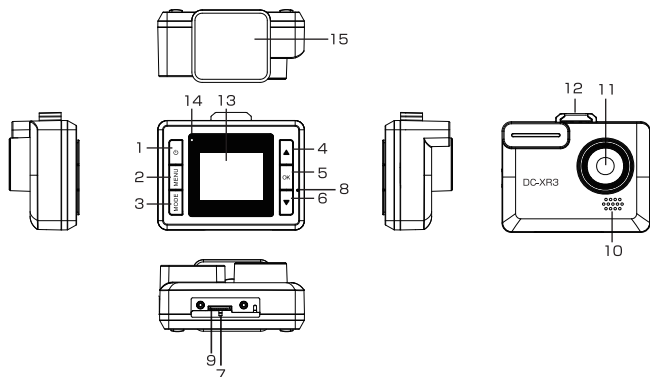
オプション品(別売)



■電源延長ケーブル(品番:RCC-03)

オプション品について→P.37 「その他」

各部の名称と働き



1. 電源ボタン



電源オンの状態で短く押すと、液晶オフになり、約 2 秒以上長く押すと、電源オフになります。電源オフの状態です約 2 秒長く押すと、電源オンになります。

2.MENU ボタン

一回押すと、「録画設定メニュー」を表示します。
その状態からさらにもう一度押すと、「共通設定メニュー」を表示します。
「共通設定メニュー」中に再度「MENU」ボタンを押すと、録画面面に切り替わります。
※メニュー画面に切り替わると、録画を停止します

3.MODE ボタン

録画中、ボタンを押すたびに各モードが切り替わります。

: 動画記録モード : 再生モード

※再生モードに切り替わると、録画を停止します

4. カーソル (▲)

メニュー画面中、カーソル操作を行います。
録画中の場合に押すと、録画中の音声録音のオン / オフ切替を設定します。

5.OK ボタン

各設定メニュー中 : 項目や設定値を決定します。
再生モード中 : 録画した動画の再生 / 一時停止を切り替えます。

各部の名称と働き

6. カーソル (▼)

メニュー画面中、カーソル操作を行います。
録画中に押すと、緊急録画を開始します。

7. リセットスイッチ

本機が正しく動作しなくなった時に押してください。

ご注意：

リセットすると、本体が強制的に再起動されます（設定値は変更されません）。

8. マイク

周囲の音声を集音します。

9. microSD カード挿入口

microSD カードを入れて使用します。

10. スピーカー

音声発話や操作音、再生時にファイルに録音された音声が出力されます。

11. レンズ

ご注意：

工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

12. ジョイントレール

同梱品の取付ステーを取り付けます。

13. 液晶モニター

1.5 インチカラー液晶

14. LED インジケーター

点灯：管理者モード中

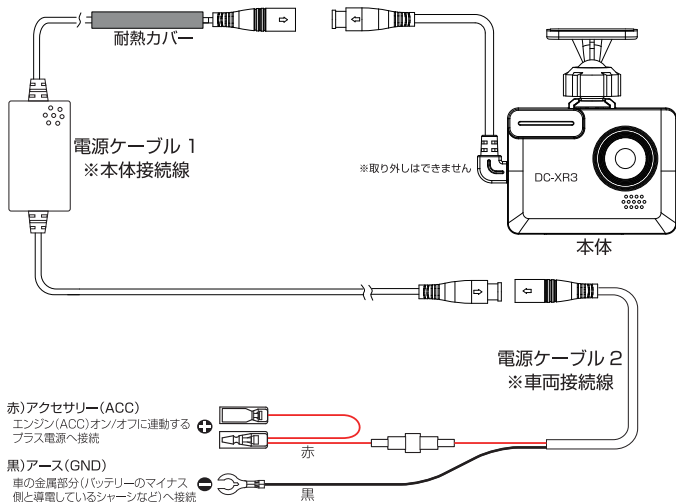
点滅：ユーザーモード中

15. 取り付けステー両面テープ

両面テープの剥離紙を剥がして貼り付けてください。

配線接続について

接続配線図



電源ケーブルに「耐熱カバー」が取り付けられています。耐熱カバーについては P.38 を参照ください。

⚠ 取り付け上のご注意

- アクセサリー線 (ACC) は、必ず車両ヒューズ (10A 以下) を通った後の配線へ接続してください。
- 本製品は、アクセサリー線 (ACC)、アースへ接続する必要があります。
- アクセサリー (ACC) をオフにした状態でも、日時保持のため、暗電流消費されます。
- 定期的に車両のバッテリーコンディションを確認してください。
- 本機を使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 車両ヒューズの無い配線へ接続を行うと火災や故障の原因となります。
- 電源コードを加工したり、ヒューズを外して接続を行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 車両のヒューズボックスから電源を取る場合 (ギボシ部分をヒューズ型に変換するケーブルを使用する) は、市販品のヒューズ変換品をご使用ください。
- ヒューズ形状には種類がありますので、取り付ける車両のヒューズを必ず確認してください。
- 配線についているギボシ端子をご使用ください。エレクトロタップ等のご使用は接触不良を起こす場合があります。
- 市販品のパーツを接続した場合の車両および本機の故障については、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 市販品パーツについてのお問い合わせは、電装品販売店へお問い合わせください。

取り付け

取付ステーを使って、車に本機を取り付けます。

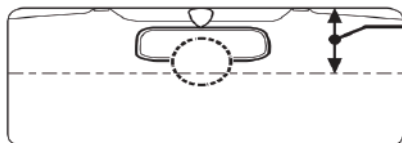
取り付け上のご注意：本機を取り付ける前に以下の内容をご確認のうえ、取り付けてください。

- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しく取り付けてください。
- 指定位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となる場合があります。
- 車に取り付ける際には、運転、視界の妨げとなる場所には取り付けしないでください。
- フロントガラスの上部 20%の範囲以内に取り付けてください。
- 同梱品の取付ステーは両面テープで固定されます。一度取り付けると取り外しが難しくなります。ご注意ください。
- 同梱品の接続ケーブル以外のものを使用しないでください。
- 運転操作に支障が生じる場所へ取り付けしないでください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガー電源アダプターが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時など鮮明に記録できます。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、取り付けしないでください。事故の際に、安全装置が動かず、けがの原因となります。

推奨取り付け位置(参考)

取り付け位置(正面)

(1) ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適な映像を録画できます。

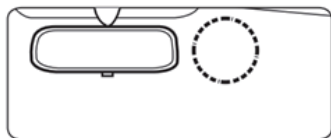
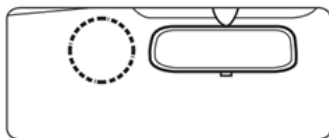


フロントガラスの上部から20%以内に取り付けてください。

※カメラレンズが、サンシェードや黒セラドットパターン、黒セララインにかからないように注意してください。

(2) ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置できない場合は、ルームミラーの左、もしくは右側にも設置することができます。

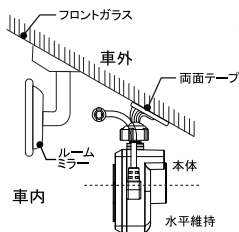
※中央部に設置できない場合、録画映像が片方に寄る可能性があります。



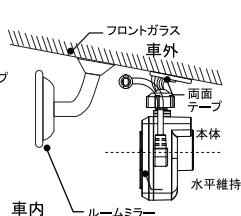
取り付け

取り付け位置（側面図）

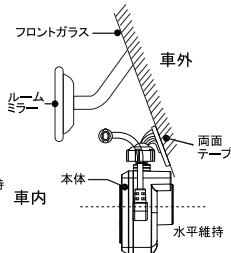
■一般的な乗用車



■フロントガラスが寝ている車



■ワンボックスやトラックなど



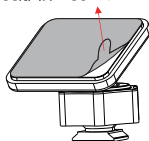
- ・ 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- ・ 本機が取り付けいた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。
図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

取り付け方法

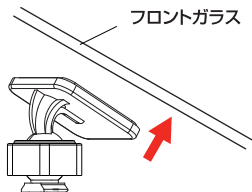
1. ステアを取り付ける場所を選び、
その場所の汚れや油などをきれいに取り
除いてください。
2. ステアの両面テープから剥離紙を剥がして、
フロントガラスに取り付けてください。

- ※ 固定力を強くするために、本体を取付後
24 時間以上放置してから使用してください。
- ※ 貼り直しはテープの粘着力が弱まり、
脱落する恐れがあります。

剥離紙を剥がす



フロントガラス



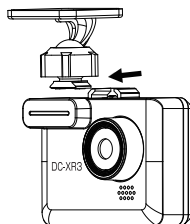
取り付け

3. ステーを本体のジョイントレールに合わせて
本体を矢印の方向にスライドさせて、
本体を装着します。

※取り付けステーのジョイント部の向きに注意して、
奥まで確実に装着してください。
確実に装着していないと、走行中に落下する
恐れがあります。

4. 車の進行方向にレンズの角度を調整して
ください。

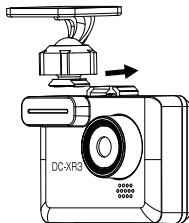
※取り付けステーのジョイント部に対して、
無理な力を入れないでください。
破損することがあります。



取り外し方法

ステーから本体を取り外す時には、
本機を矢印の方向にスライドさせてください。

※取り外す際、無理な力を入れないでください。
破損することがあります。

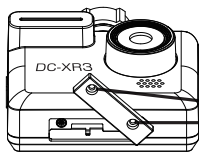


microSDカードについて

microSDカードカバーの取り外し

microSD カードを挿入または取り外しする場合、本体下部にあるカバーを取りはずします。取り外す際は、トルクスネジ（2箇所）をトルクスレンチ（T6）を使用して外します。

※トルクスネジは紛失しないようご注意ください



取り付けネジ(トルクスネジ)

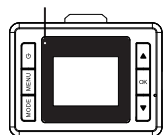
microSDカードの挿入と取り外し

1. microSD カードを挿入する前に、必ず本機の電源がオフになっていることを確認してからおこなってください。

※本機動作中、microSD カードの挿入・取り外しをすると、データの破損、本機の故障の原因になる恐れがありますので、おやめください

※本機動作中、microSD カードを挿入、取り外しすると、本機が再起動します

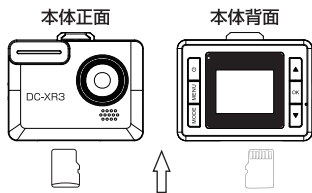
本機動作 LED ランプが点灯していないことを確認してください。



2. microSD カードの向きに注意してスロットに差し込んでください。

3. microSD カードが内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

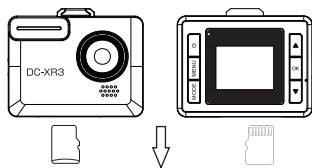
※カチッと音がするまで差し込んでください



4. microSD カードを取り出す時は、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き抜きます。

※microSD カードを取り出す前に、必ず本体の電源をオフにしてください

※事故発生時に記録された映像データが壊れないように必ず本体の電源をオフしてから microSD カードを抜いて保管してください



microSDカードについて

microSDカードのフォーマット

microSD カードをフォーマットするには、下記の手順が必要となります。

※microSD カードをフォーマットする前に、重要なデータは必ずバックアップしてください。

フォーマットとは、microSD カード内のデータを初期化することであり、長期間 microSD カードをフォーマットせずに録画データを書き込み続けると、書き込みや読み込みのエラー（ファイルの断片化）が発生しやすくなります。

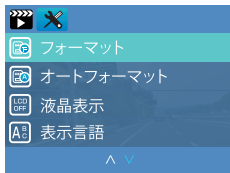
フォーマットせずにお使い続けると、正常に録画ができなくなったり、microSD カードが認識できなくなる可能性があります。安定的にお使いいただくために、製品お買い上げ時および2週間ごと（推奨）に定期的なフォーマットをしてください。

※microSD カードのフォーマットは、本体設定の初期化（工場出荷設定）とは異なり、microSD カード内にある録画データのみを初期化（クリーンアップ）するものとなります

※microSD カードのフォーマットを行うと、全てのデータが消去されますので、ご注意ください

フォーマット操作

1. 同梱されている microSD カードが挿入されていることを確認する
2. 車のエンジンをオン（ACC ON）にして、本体を起動する
3. 共通設定メニューに切り替える



4. フォーマットを選択する
5. 「フォーマットすると全データが削除されます。」と表示されるので、実行したい場合は、**[実行]**を選択します。
フォーマットをしたくない場合は **[キャンセル]** を選択します。

※フォーマットが完了すると、「フォーマットが完了しました」と音声発話されます

※フォーマットが完了すると、画面は「共通設定メニュー」画面に戻ります

microSDカードについて



本機を使用する前に、microSD カードを本機でフォーマットする必要があります。

- microSD カードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。
予めパソコンにバックアップすることをおすすめします。
- フォーマットの操作は、必ず本機が車両に固定された状態かつ車両が停止している状態でおこなってください。
- フォーマット中は電源を切らないよう、ご注意ください。

電源オン/オフについて

電源オン

●エンジン連動による電源オン

エンジン連動による電源オフ操作をした場合に限り、次回起動時は、エンジンをオンすると自動的に本体の電源がオンになり、自動的に録画を開始します。

本体の電源ボタンを長押ししても電源はオンになりません。

本機が起動した際、以下の音声が発話されます。

「レンタカー仕様のため、ボタン操作はできません。安全運転で交通ルールを守りましょう」

●マニュアル操作による電源オン

マニュアル操作による電源オフ操作（＝強制電源オフ）をした場合に限り、次回起動時は、本体の電源ボタンを約 2 秒長押しすると、本体の電源がオンとなります。

エンジン連動では自動的に本体の電源がオンになりません。

電源オフ

●エンジン連動による電源オフ

車のエンジンをオフにすると、本機は自動的に電源がオフになります。

●マニュアル操作による電源オフ（強制電源オフ）

電源ボタンを約 2 秒以上押しして電源をオフすることができます（強制電源オフ）。



ご注意

- 電源をオフした場合、直前までの記録されたファイルが保存されます。
- エンジンオンした後、本機が起動するまで約 10 秒程度かかります。
- 録画面面に切り替わるまでは、映像を記録することができません。
- 電源をオンしてから約 30 秒経過する間にエンジンオフ（電源オフ）すると、スーパーキャパシタの充電のため、映像を記録することはできません。
- 本機の電源をオフにした直後、再度電源をオンした場合、内部のメモリ保護回路が働くため、電源が入らない場合があります。
電源をオフにしてから約 5 秒～10 秒以上経過した上で、再度、電源をオンにしてください。
- スーパーキャパシタの充電が不十分な場合、すぐに電源オンしない場合があります。
- 強制電源オフした場合、次回起動時、エンジンのオンでは自動的に電源はオンしません。
強制電源オフした場合は、再度、本体の電源ボタンを約 2 秒長押しして、電源を入れてください。

録画について

録画の種類

●ループ録画（常時録画）

本機の設定により、常時録画時は 1 分間 / 2 分間 / 3 分間単位で連続して録画します。録画領域が上限に達すると、古いファイルから自動的に上書きをして録画を続けます。

1 ファイル	1 ファイル	1 ファイル	1 ファイル	1 ファイル	録画継続・・・
--------	--------	--------	--------	--------	---------

●緊急録画

1. 緊急録画とは

録画中、緊急録画ボタン [▼] を押す、あるいは本機に搭載されている G センサーが衝撃を感知すると、緊急モードで録画開始します。緊急録画を開始すると、本機液晶右上に「0m」マークが表示され、「ピッピッ」という音が鳴ります。



2. 緊急録画のファイル保存について

緊急録画開始の時点により、ロックされる動画が異なります。

(例)

※ループ録画設定を「1 分間」に設定時、動画①→②→③・・・と録画し続けます

※動画②の時に事故が発生して、G センサーが衝撃を感知した場合、緊急録画が開始します

※★は緊急録画の開始時点

動画①		動画②		動画③	
1 分	10s ★1	40s ★2	10s ★3	1 分	録画継続・・・

事故発生

★1：動画②の最初から 10 秒以内に緊急録画が開始されると、動画①と動画②がロックされます。

★2：動画②の最初・最後 10 秒以外に緊急録画が開始されると、動画②がロックされます。

★3：動画②の最終 10 秒以内に緊急録画が開始されると、動画②と動画③がロックされます。

※★3 の緊急録画の際、緊急録画発生時に「ピッピッ」と音が鳴りますが、その後の動画③の録画開始点である「00:00」のタイミングで、再度「ピッピッ」と音が鳴ります

3. 緊急録画終了時

緊急録画完了後、本機液晶右上の「0m」マークが消えて、常時録画に戻ります。

録画について

録画ファイル種別

ループ録画（常時録画）ファイルと緊急録画ファイルの種別は、microSD カードの映像データをパソコンに取り込むことで、以下のように確認できます。

記録されたデータ例

名前	更新日時	サイズ	属性
VID_023	2021/03/17 8:48	84,601 KB	A
VID_025	2021/03/17 10:21	31,260 KB	A
VID_026	2021/03/17 10:23	31,260 KB	A
VID_027	2021/03/17 10:31	31,260 KB	A
VID_030	2021/03/17 10:33	89,446 KB	A
VID_031	2021/03/17 10:34	88,648 KB	A
VID_024	2021/03/17 10:20	84,944 KB	RA
VID_028	2021/03/17 10:31	31,260 KB	RA
VID_029	2021/03/17 10:32	88,460 KB	RA
VID_032	2021/03/17 10:35	84,578 KB	RA

常時録画ファイル
※属性が「A」となっているもの

緊急録画ファイル
※属性が「RA」となっているもの

※Windows パソコンの「詳細表示の設定」で属性を表示させることができます

⚠️ ご注意

- 「緊急」とは、衝撃を感知した場合という意味です。
- G センサーがスーパーソフト（超高感度）に設定されている場合、衝撃が感知しやすくなり、ハード（低感度）に設定されている場合、強い衝撃のみ感知します。
お好みの感度に設定してご使用ください。
- 感度設定を衝撃に対して弱い感度に設定している場合、事故時など緊急録画ファイルとして扱われなくなり、ループ（常時）録画ファイルとして保存される場合があります。
- ループ（常時）録画ファイルと緊急録画ファイルはフォルダ別に保存されず、microSD カードのルートディレクトリへ全てのファイルが保存されます。
- 録画ファイルの保存容量の割合は、ループ（常時）録画：70%、緊急録画：30%となります。
- 事故発生時に衝撃感知が弱い（感度が低い）場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は衝撃感知の設定を見直してください。
- 録画ファイルは、microSD カードの容量を超えた場合、古い映像データから順番に上書きされますので、ご注意ください。
- 緊急録画ファイルが保存容量の30%を超えた場合、古い映像データから順番に上書きされます。

動画記録モード

動画記録画面

1. 液晶モニター

映像画面を表示します。

2. G センサーアイコン

G センサーの感度を表示します。
設定 4 段階をアイコン表示します。

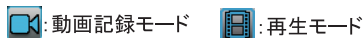
3. 露出補正アイコン

4. ループ録画（常時録画）アイコン

設定されているループ時間をアイコン表示します。

5. モードアイコン

動画記録モードの時に、このアイコンを表示します。



6. 録画中アイコン

録画中に点滅表示します。

7. 動画記録時間

録画中の場合：現在録画されている経過時間を表示します。

8. GPS アイコン

GPS を受信している場合、アイコンを表示します。
GPS が受信できない場合、× マークが表示されます。

9. 解像度アイコン

録画ファイルの解像度を表示します。

10. microSD カードアイコン

microSD カードの状態を表示します。



動画記録モード

11. 電源アイコン



本体通電中に点灯します。

12. 日付・時刻

GPS で取得された日付と時刻を表示します。

13. 音声録音アイコン

音声を録音している・していないの状態を表示します。

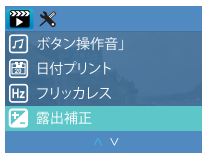
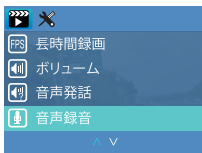
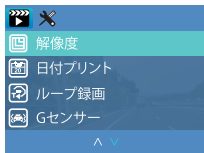
オン： オフ：

14. 緊急録画中アイコン

緊急録画中表示されます。

動画記録モードの設定

録画停止中、「MENU」ボタンを押すと、動画記録モードの設定メニューが表示されます。



動画記録設定

項目	設定内容	説明
解像度	1080P	録画ファイルの解像度を 1920×1080 に選択します。
	720P	録画ファイルの解像度を 1280×720 に選択します。
日付 / 時刻	---	初期値=2022/01/01 「▲」ボタンで、日時の数字をアップします。 「▼」ボタンで、日時の数字をダウンします。 「OK」ボタンを押すと設定項目が保存され、カーソルが次の項目に移動します。
ループ録画	1分	常時録画で記録される 1 ファイルごとの録画時間を設定します。
	2分	
	3分	
G センサー	オフ	G センサー（衝撃感度）感度を設定します。
	スーパーソフト	・オフ：G センサーによる緊急録画を行いません
	ソフト	・スーパーソフト（超高感度）：[ソフト] より検出しやすくなります
	ノーマル	・ソフト（高感度）：検出しやすくなります
	ハード	・ノーマル（標準感度）：標準の感度となります ・ハード（低感度）：検出にくくなります
長時間録画	9fps	録画時のフレームレートを設定します。 ・9fps：フレームレートを 9fps に下げて長時間録画します
	14fps	・14fps：フレームレートを 14fps に下げて長時間録画します
	27fps	・27fps：高フレームレートで録画します ※フレームレートが高いほど、滑らかな映像を記録できます ※フレームレートが低いと、映像の滑らかさが失われますが、データ量が少なくなる分、長時間の録画に適しています
ボリューム	低	音声発話、再生音量、操作音量の大きさを変更します。
	中	
	高	
音声発話	オン	音声発話をする・しないを設定します。
	オフ	
音声録音	オン	音声を録音をする・しないを設定します。
	オフ	
ボタン操作音	オン	ボタン操作時の操作音を鳴動する・しないを設定します。
	オフ	

動画記録設定

項目	設定内容	説明
日付プリント	オン	動画ファイルに日付や時刻を記録することができます。
	オフ	
フリッカレス	50Hz	東日本地域は 50Hz に設定してください。 西日本地域は 60Hz に設定してください。 ※記録撮影時に LED 信号灯等のちらつきを防止します。
	60Hz	
露出補正	-3	記録される画質の露出（明るさ）のレベルを設定します。
	-2	
	-1	
	0	
	1	
	2	
	3	

ご注意

- 設定画面中、何も操作をしない状態が 30 秒経過すると、録画画面に自動的に切り替わります。
- フレームレートを低い数値に設定すると、データ量が少なくなるため、長時間録画をした場合に適しています。ただし、映像のなめらさが失われ、映像にカクツキが発生します。
- フレームレートの設定を変更した場合でも、画質に変化はありません

再生モード(記録ファイルの読み出し)

本機の再生モード画面

「MODE」ボタンを押して、再生モードに切り替えます。
再生モードに入ると、本体に記録された動画を本機で再生することができます。

記録ファイル再生 / 表示中の画面



- 1. モードアイコン**
再生モードの時に、このアイコンを表示します。
- 2. 動画ファイルの記録時間**
 - 再生中はファイルの進行時間を表示します
 - 再生モードに切り替えた直後の場合は、ファイルの総時間を表示します
- 3. 解像度アイコン**
記録された解像度を表示します。
- 4. 日付・時刻**
記録された動画に撮影した日付と時刻を表示します。
※日付プリント設定がオンになっているファイルが対象となります
- 5. 再生 / 一時停止状態表示アイコン**
現在の再生ファイルが再生中もしくは一時停止中であるかの状態を表示します。
- 6. 停止アイコン**
動画再生中に「MODE」ボタンを押すと、再生を停止して、次のファイルに切り替わります。
- 7. ファイル切り替えアイコン**
カーソルボタンで前 / 次のファイルに切り替えます。
再生は、巻戻し / 早送りします。
- 8. 液晶モニター**
記録された動画や静止画の画面を表示します。
- 9. 緊急録画アイコン**
緊急録画ファイルの場合、アイコンを表示します。

再生モード(記録ファイルの読み出し)

再生モードの設定

再生モードで、「MENU」ボタンを押すと、再生モードの設定メニュー画面が表示されます。



項目	設定内容	説明
削除	削除しますか?	画面表示されているファイルのみを削除します。
	全て削除しますか?	ループ録画ファイルを全て削除します。
保護	ロックする	画面表示されているループ録画ファイルをロックし、緊急録画ファイルとして扱います
	ロックを解除する	画面表示されている緊急録画ファイルのロックを解除し、ループ録画ファイルとして扱います
	全てロックする	microSD カード内に保存されているループ録画ファイルを全てロックし、全てのファイルを緊急録画ファイルとして扱います
	全てロックを解除する	microSD カード内に保存されている緊急録画ファイルを全てロック解除し、全てのファイルをループ録画ファイルとして扱います

ご注意

- 再生モード画面中（ファイル停止中）、何も操作をしない状態が 30 秒経過すると、録画画面に自動的に切り替わります。

共通設定について

共通設定メニュー画面

「MENU」ボタンを押して、共通設定メニュー画面に切り替えます。



項目	設定内容	説明
フォーマット	—	microSD カードのフォーマットを行います。 ※microSD カードをフォーマットする前に、重要なデータを PC でバックアップしてください ※フォーマットについて→「P.19 microSD カードについて」
オートフォーマット	オン	オートフォーマットの設定をします。
	オフ	※オートフォーマットについて→P.35 「オートフォーマットについて」
液晶表示	オン	設定された時間が経過すると、自動的に液晶画面をオフにします。
	オフ	・オン：常に液晶画面を表示します ・オフ：常に液晶画面を表示しません（黒画面） ※オフを選択した直後、設定共通設定メニュー画面から録画記録画面に切り替わります
	1 分後オフ	・1 分後オフ：液晶表示されている状態から無操作で約 1 分後に液晶をオフにします
	2 分後オフ	・2 分後オフ：液晶表示されている状態から無操作で約 2 分後に液晶をオフにします
表示言語	日本語	本機のメニュー表示言語を設定します。
	ENGLISH	
	中国語	
リヤカメラモード	オン	本機をリヤカメラとして使用する場合、本設定をオンにしてください。設定をオンにすると、強制的に以下の設定項目が切り替わります。
	オフ	・解像度：1080P ・音声発話：オフ ・ボタン操作音：オフ
本体初期化	—	本機の設定を全て工場出荷状態に戻し、再起動します。
ロック機能	オン	操作ロックをする・しないを設定します。
	オフ	・オン：操作ロック ・オフ：操作ロック解除
バージョン	—	本機のバージョン情報を表示します。

共通設定について

ご注意

- 本体初期化をおこなっても、録画されているデータは消去されません。
- 「ロック機能」と「リヤカメラモード」設定は、本体初期化しても設定値は初期値に戻りません。
- 「ロック機能」を [オフ] に設定している状態で、本体初期化した後、ユーザーモードでご使用する場合は、「ロック機能」を [オン] に切り替えてください。
- 設定画面中、何も操作をしない状態が 30 秒経過すると、録画画面に自動的に切り替わります。

録画時間について

本機に使用するmicroSDカードのサイズとフレームレートにより、記録時間が異なります。

microSD カード容量	フレームレート設定 :27fps の場合	
	1080P (1920×1080)	720P (1280×720)
16GB	約 120 分	約 210 分
32GB	約 250 分	約 430 分

microSD カード容量	フレームレート設定 :14fps の場合	
	1080P (1920×1080)	720P (1280×720)
16GB	約 240 分	約 410 分
32GB	約 490 分	約 820 分

microSD カード容量	フレームレート設定 :9fps の場合	
	1080P (1920×1080)	720P (1280×720)
16GB	約 350 分	約 570 分
32GB	約 700 分	約 1100 分

ご注意

- ループ録画(常時録画)ファイルと緊急録画ファイルの合算となります。
- microSDカード内の各ファイルが以下のように振り分けされます。
 - ・ループ録画ファイル : 70%
 - ・緊急録画ファイル : 30%
- 映像データ1分=約90~100MBを基準として算出しています。
- 上記は理論値のため、目安となります。(システムデータ領域も含まれます)。
- 被写体や撮影条件等によりデータサイズが変化します。そのため、データサイズはファイルごとに異なります。
- ループ(常時)録画ファイルと緊急録画ファイルは、それぞれのファイルがいっぱい(保存フォルダ内の上限に達した時)になると、古いファイルから上書きします。
- 本機は、microSDカードに保存されるファイル数の最大が999ファイルまでとなります。999ファイルを超えた場合、古いファイルから上書き保存します。そのため、「microSDカード:32GB」をご使用かつ「フレームレート:9fps、解像度:720P」に設定している場合は、「ループ録画」設定を[1分]以外に設定することをおすすめします。
- 大切なデータは循環して上書きするため、定期的にデータをバックアップしてください。

トラブルシューティング

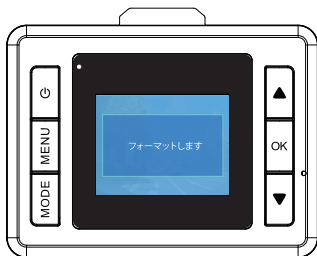
本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・本機の電源はオンになっていますか？ ・配線は正しく接続されていますか？ ・ヒューズが切れていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本機の電源をオンにしてください。 ・配線を見直してください。 ・ヒューズを交換してください。
誤作動する	—	<p>本機のリセットボタンを押してください。本機を再起動してください。再起動とリセットをしても改善しない場合は、電源をオフにして、挿入している microSD カードに保存されているデータをバックアップしてから、フォーマットしてください。</p>
液晶画面に輝点がある	液晶パネルの特性です。不良ではありません。(有効画素数 99.99%)	—
録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・ microSD カードが本体に挿入されていますか？ ・ 録画状態に切り替わっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ microSD カードが本体に挿入されていることを確認してください。 ・ 対応している microSD カードに交換してください。 ・ 動画記録モードに切り替えてください。
他の車載器に影響が出る(テレビが映らない等)	高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。また、ETC アンテナ付近に設置すると誤作動する場合があります。	テレビ、ラジオ、ETC アンテナ等から 50cm 以上離して取り付けをするか、アンテナ位置を離してください。また、車両の各種センサー装置(安全運転支援装置、各種レーダー等)や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。
日時が正しくない	GPS を受信していますか？	お買い上げ時または長期間ご使用になられなかった場合に日付 / 時刻設定が初期化される可能性があります。GPS が受信できる環境へ移動してください。
緊急録画ができない	G センサー感度設定がハードになっていませんか？	G センサー感度設定をソフトまたはスーパーソフトに変更してください。

オートフォーマットについて

オートフォーマット機能について

- ・本製品は、microSDカードのフォーマット忘れを防ぐため、「オートフォーマット」機能を搭載しています。
- ・オートフォーマットは、毎月1日に電源をオンした場合、自動的にフォーマットを行う旨をお知らせするメッセージ画面が表示されます。
- ・一度メッセージが表示されると、次の表示は翌月となります。
- ・毎月1日に電源をオンしなかった場合は、当月、初めて電源オンした時に機能が働きます。



オートフォーマットが機能した場合、オートフォーマットを通知するメッセージが表示されます。

メッセージ表示した状態で約10秒後に自動的にフォーマットを行います。

※その際、音声発話されます

ご注意

- フォーマットの操作は、必ず本機が車両に固定された状態かつ車両が停止している状態でおこなってください。
- フォーマット中は電源を切らないよう、ご注意ください。
- フォーマットすると、全てのデータが削除されますので、ご注意ください。
- オートフォーマットを使用したくない場合は、「共通設定」の「オートフォーマット」を [オフ] にしてください。

その他

SDカードフォーマットについて

長期間、SDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなります。定期的なフォーマットをおすすめします。

<ファイルの断片化について>

SDカードはNANDフラッシュ及びコントローラで構成されており、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータの書き込みは行われず、繰り返しデータ記録が続けられると、不良セクタの位置の判断ができなくなり、記録できる領域が減少します。また、不良セクタにより、カードエラーや書き込みエラーの原因となる場合があります。安定してご使用いただくため、定期的なフォーマットをおすすめしています。

→microSDカードについて P.1「microSDカードについて(重要)」

→フォーマットについて P.19「microSDカードについて」

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずmicroSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

microSDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとmicroSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・静電気が発生する場所
- ・水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・衝撃を受ける場所(曲げ・折り込む)
- ・腐食性ガスが発生する場所

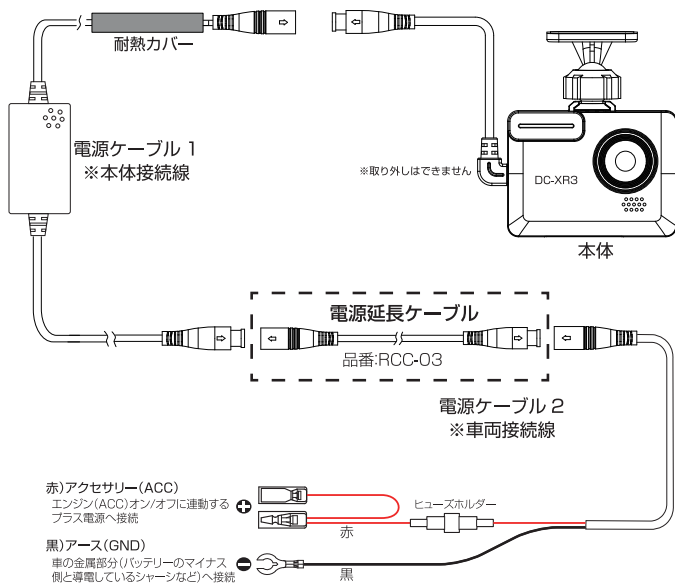
その他

オプション品について [お求めはサービスセンターまでご連絡ください]

オプション品(別売)の「電源延長ケーブル(品番:RCC-03)」を使用することで、本機をリヤカメラとして使用することができます。

※リヤウィンドウへ本機を取り付けて使用する場合

電源延長ケーブルを使用する場合の接続方法



その他

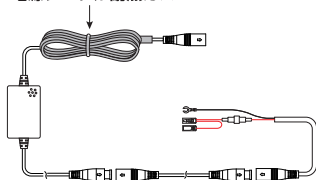
電源延長ケーブルの耐熱カバーについて

車両ルーフ内に収納したケーブルがルーフ金属板と接触している場合、本製品の電源ケーブルの被覆の一部が熱により変形する可能性があるため、耐熱用のカバーを装着してケーブルの変形を防ぐ対策を施しています。

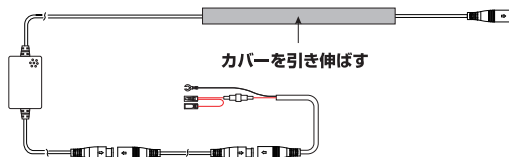
電源ケーブル耐熱カバーの取り付け方法

●工場出荷時、耐熱カバーは電源ケーブルに取り付けられています。

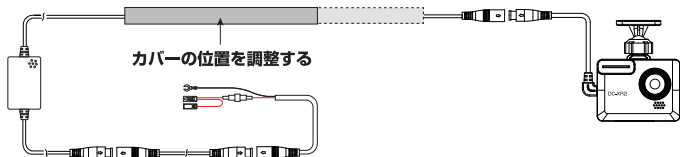
電源ケーブル耐熱カバー



●電源ケーブルを伸ばすと同時に、耐熱カバーも引き伸ばしてください。



●ルーフ金属部に接触する可能性がある位置に耐熱カバーを合わせてください。



- ・コネクタ部分がルーフ金属部（熱が発生しやすい箇所）に接触する場合は、コネクタ部分にカバーを合わせてください。
- ・カバーが長い場合は、必要に応じてカットしてください。

仕様

型番	DC-XR3
記録媒体	microSD カード (16GB Class10)
ディスプレイ	1.5 インチカラー液晶
レンズ (フロント)	2G2P+IR650/F=2.0
イメージセンサー	200 万画素カラー CMOS
視野角 (画角)	対角：約 132° 水平：約 110° 垂直：約 62° (測定誤差 5%)
フレームレート	27fps/14fps/9fps
動画記録解像度 (フロント)	1080P (1920×1080) / 720P (1280×720)
ファイル形式	.mov
ループ (常時) 録画記録時間	1 分 / 2 分 / 3 分
録画モード	ループ (常時) 録画 / 衝撃感知録画 (緊急録画)
録画フォルダ分割比率	ループ (常時) 録画：70% / 衝撃感知録画 (緊急録画)：30%
G センサー (衝撃感知)	対応 (超高感度：スーパーソフト / 高感度：ソフト / 標準：ノーマル / 低感度：ハード)
GPS	対応
スーパーキャパシタ	対応
音声録音	対応
ガイダンス音声	対応
使用電源電圧	DC12V-24V
消費電力	最大 2.0W
本体寸法 (mm)	約 71(W)×53(H)×22.5(D) (レンズ含む)
本体重量	約 55g (microSD カード含む)
保存温度	-20℃～70℃
動作温度	-10℃～60℃
付属品	本体 ×1 電源ケーブル 1 (本体接続線、耐熱カバー付) ※約 4m ×1 電源ケーブル 2 (車両接続線) ※約 35cm ×1 取り付けステー ※3M 両面テープ付 ×1 microSD カード ※16GB 本体挿入済 ×1 取扱説明書 ×1 保証書 ×1

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください

Diletto

販売元：株式会社イノベティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

innovativesale.co.jp/

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027 (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00~17:00

(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp

2024.06(初版)

